

# 令和元年度 病害虫防除技術情報 第2号

令和元年7月1日  
大分県農林水産研究指導センター  
病害虫対策チーム

## 中山間地域における白ネギべと病の防除対策について

中山間地域（玖珠町、九重町）でべと病の発生が確認されています（図1）。気象庁の1か月予報（6/20発表）では、気温は平年並から平年より低く、降水量は平年並と予想されています。また、過去の巡回調査結果では6月に発生が多い年は7月や秋にも発生が見られる傾向があります（表1）。今後の気象が気温が低く降雨が多い場合は、べと病の多発が懸念されますので気象情報に注意し、圃場内外でのべと病の発生状況に応じて防除を実施してください。

### 1. べと病発生状況

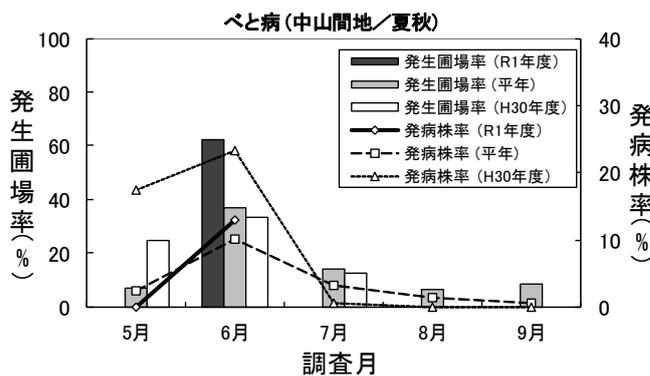


図1 べと病発生推移（中山間地）

表1 過去のべと病発生状況（中山間地）

| 年度     | 6月        |          | 7月        |          | 8月        |          | 9月        |          |
|--------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
|        | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 平成20年度 | 83.3      | 20.7     | 0         | 0        | 0         | 0        | 33.3      | 19.3     |
| 平成21年度 | 83.3      | 20.7     | 14.3      | 5.7      | 14.3      | 4.0      | 33.3      | 2.7      |
| 平成22年度 | 37.5      | 14.1     | 25.0      | 2.0      | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成23年度 | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成24年度 | 14.3      | 0.6      | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成25年度 | 0         | 0.1      | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成26年度 | 62.5      | 6.5      | 50.0      | 6.5      | 50.0      | 10.0     | 25.0      | 1.0      |
| 平成27年度 | 75.0      | 20.0     | 37.5      | 17.5     | 0         | 0        | 28.6      | 1.1      |
| 平成28年度 | 37.5      | 14.5     | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成29年度 | 25.0      | 2.0      | 0         | 0        | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 平成30年度 | 33.3      | 23.3     | 12.5      | 0.5      | 0         | 0        | 0         | 0        |
| 令和元年度  | 62.5      | 13.0     | -         | -        | -         | -        | -         | -        |

### 2. 防除上注意すべき事項

- 1) 発生が認められていない圃場でも感染の可能性があるため、発生に好適な気象条件（平均気温 13～20℃、降雨）が続くと急激にまん延するため発病前の予防散布を行う。
- 2) 薬剤散布は曇雨天時を避け、薬剤が速やかに乾く晴天時に行う。
- 3) 薬剤が付着するよう必ず展着剤を使用し、株元にも十分付着するよう散布する。
- 4) 多湿条件や多肥、肥料不足は発生を助長するので排水対策を施すと同時に、適正な肥培管理に努める。
- 5) 使用薬剤は大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。中でも同一成分を含む薬剤を連用しないようローテーション散布を心掛ける。

（ホームページアドレス <http://www.jpnp.ne.jp/oita>）

